

ビワ生育情報

第 4 報
千葉県農林水産部
令和 5 年 1 月号

本年の開花は、11月の平均気温が高かった影響から、3品種とも開花盛期、終期ともに平年より早くなりました。

花房及び樹の発育

ビワの開花期は表1に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月10日で、平年より2日、前年より8日遅かった。「大房」が11月22日で、平年より2日早く、前年と同日だった。「田中」が11月10日で、平年より2日早く、前年より5日遅かった。開花盛期は、「楠」が11月21日で、平年より5日早く、前年より1日遅かった。「大房」が12月2日で、平年より15日、前年より8日早かった。「田中」が11月22日で、平年より10日、前年より2日早かった。開花終期は、「楠」が12月5日で、平年より19日、前年より3日早かった。「大房」が12月23日で、平年より35日、前年より9日早かった。「田中」が12月10日で、平年より28日、前年より2日早かった。

花房の出蕾期は「楠」、「田中」は平年並み、「大房」はやや早く、10月の平均気温は平年よりやや低く推移したため、開花始期は平年並みだったが、11月の平均気温が平年より高く推移したため、開花盛期及び終期は平年より早かった。全体的に樹及び花房の生育は順調である。

表1 ビワの開花期(暖地園芸研究所)

品 種	開花始期 (月. 日)			開花盛期 (月. 日)			開花終期 (月. 日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11.10	11. 8	11. 2	11.21	11.26	11.20	12. 5	12.24	12. 8
大 房	11.22	11.24	11.22	12. 2	12.17	12.10	12.23	1.27	1. 1
田 中	11.10	11.12	11. 5	11.22	12. 2	11.24	12.10	1. 7	12.12

平年：1992年～2021年の30年間の平均

令和4年12月の気象

令和4年12月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第3、6半旬は平年より高く、第1半旬は平年並み、第2、4、5半旬は平年よりも低かった。月平均気温は8.4℃で、平年より0.3℃、前年より0.6℃低かった。

氷点下日数は0日であった。最低極温は全半旬で平年より高かった。

降水量は第2、第4、第5半旬は平年より多く、第1、第3、第6半旬は平年より少なかった。月合計は89mmで平年の92%、前年の64%であった。

日照時間は第1半旬は平年より少なく、その他の半旬は平年より多かった。月合計は179時間で平年の108%、前年の88%であった。

表2 令和4年12月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温 (°C)			氷点下日数 (日)			最低極温 (°C)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	10.6	10.6	11.7	0.0	0.1	0.0	5.2	3.8	4.8
2	9.2	9.4	10.1	0.0	0.0	0.0	4.9	2.4	4.6
3	9.4	8.9	9.6	0.0	0.3	0.0	3.7	2.0	1.3
4	6.8	8.1	8.5	0.0	0.3	2.0	1.2	1.0	-1.3
5	7.0	8.3	9.5	0.0	0.5	0.0	1.1	0.9	3.4
6	7.4	7.0	5.5	0.0	1.4	4.0	1.7	-0.5	-2.0
平均/計/最小値	8.4	8.7	9.0	0.0	2.6	6.0	1.1	-0.5	-2.0

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22	29	42	10	25	39
2	18	10	30	31	25	17
3	4	16	3	29	26	37
4	17.5	9	58	33	27	38
5	27	12	7	35	28	37
6	0	21	1	40	35	35
計	89	97	139	179	165	202

平年：1991～2020年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは12月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

2月の作業

1月中旬～2月上旬は1年間で最も寒い時期である。本年の開花状況は平年よりも進んでいるため、寒害を受けるリスクは高いと考えられる。したがって、急な寒波には十分注意し、必要に応じて、被覆資材で樹体を覆ったり、園内をヒーターにより加温したりする等の対策を行う。

苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な2月中下旬が適期である。苗木は根鉢を崩さないように土を付けた状態で移植すると植え傷みが少ない。移植に時間を要する場合は、掘り上げ前に苗木の全ての葉を半切りしておく。

植穴は直径1～1.5m、深さ40～50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から30～50cm高く盛り土する。定植後は苗に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをしておく。

がんしゅ病の予防散布

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいため、感染防止を目的として、春枝の新葉展開期の3月上中旬に薬剤散布を行う。薬剤散布は幹、枝及び葉に薬液が十分付着するように行う。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室
電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>